

### 昭和43年度地質調査所の出版物

#### 地質図

1:2,000,000 No. 4 日本地質図(第3版)

No. 11 日本の火山\*

No. 12 日本地質構造図

1:200,000 地質図「天塩」「剣山」

1:50,000 地域地質研究報告「北見」「白杵」

1:50,000 富士火山地質図

\*別に火山文献選集がある

#### ・日本水理地質図

No. 17 高知県鏡川・国分川および物部川流域

#### ・日本炭田図

No. VIII 雨竜-留萌炭田地質図(完)

#### ・図幅目録図

#### ・地質調査所報告

第226号

HIRAYAMA, K.: Geological study on the Anguran mine, northwestern part of Iran, 1968

第227号

SHIBATA, K.: K-Ar age determinations on granitic and metamorphic rocks in Japan, 1968

第228号

鈴木尉元: 日本列島とその周辺地域の震源分布についての試論 1968

第229号

HATTORI, H.: Late Mesozoic to Recent tectogenesis and its bearing on the metamorphism in New Zealand and in Japan, 1968

第230号

FUJII, N.: Genesis of the fireclay deposits in Tajimi-Toki district, Gifu prefecture, central Japan, 1968

第231号

近藤善教: 伊賀構造盆地の構造地質学的研究

第232号

地質調査所: 日本におけるウランの産状 その2

物理探鉱調査研究一覧 第XI輯(昭和42年)

地質調査所出版物目録 明治13年一昭和43年

地質調査所化学分析法 No. 41 No. 42 No. 43

#### ・地質調査所月報 第19巻 第4号

報 文

Ken SHIBATA & Yoshikazu HAYAMA: K-Ar Ages of the Ryoke Metamorphic Rocks of the Komagane District, Nagano Prefecture, Central Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Age of Ominesan Acid Rocks, Kishu, Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Ages of Granitic Rocks of Ashizuri-misaki, Takatsukiyama and

Omogo, Shikoku, Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Ages of Osuzuyama Acid Rocks, Kyushu, Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Ages of Acid Rocks of Noma-misaki and Hioki Mountains, Kyushu, Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Ages of Yakujima Granite, Kyushu, Japan

Ken SHIBATA & Tamotsu NOZAWA: K-Ar Age of Omi Schist, Hida Mountain, Japan

Ken SHIBATA & Shunso ISIHARA: K-Ar Ages on biotite from Questa Mine Area, New Mexico, U.S.A. 神谷雅晴: 甲山鉱山およびその周辺の含金銀石英脈について

資 料

古地理学原論 その1—科学としての古地理学 (1)

(須貝・平山・鈴木 訳)

#### ・地質調査所月報 第19巻 第5号

報 文

向井清人・小野寺公兎・丸山修司: 国東半島東部地域の海岸地形と海浜堆積物について

——とくに打上げ砂鉄の濃集変化——

(付) 海浜 河川堆積物の鉱物組成

秦 光男: 奥尻島南部群来岬のいわゆる斑岩の産状

概 報

関東・中部地方の最近の造構運動と発震機構との関係について (鈴木)

資 料

Kaolin Deposits of Japan (藤井・岡野・嶋崎)

堆積性マンガン鉱石化過程における微量元素の挙動(盛谷訳)

黒海の堆積物における硫黄の転移要因に関する問題(矢部訳)

#### ・地質調査所月報 第19巻 第6号

報 文

尾崎次男・菅野敏夫: 赤城山および榛名山における地下水の補給量推定に関する研究

市川金徳: 四国大歩危周辺地震探査について(深層試錐の位置選定の先行調査)

高橋稠・後藤準次: 福井県敦賀平野における工業用地下水源

資 料

Offshore Detrital Heavy Minerals in Japan (岡野・丸山・嶋崎)

続成過程で海成堆積物中に生成される水質型について(矢部訳)

#### ・地質調査所月報 第19巻 第7号

報 文

小鯛桂一: 水位観測結果に基づく本邦臨海部被圧地下水の水理学的考察

清原清人: 北九州平尾石灰岩層の地質——とくに平尾石灰岩層の地質構造について——

太田良平・松野久也・西村嘉四郎: 熊本県岳の湯および大分県大岳付近地質調査報告

資 料

アゾフ海の堆積物生成にみられる2,3の特性(矢部訳)

・地質調査所月報 第19巻 第8号  
報 文

徳永重元・高瀬一成：岩手県久慈炭田産孢子・花粉化石の研究  
高木慎一郎・田中信一：松川地熱坑井の電気検層（第1報）  
鈴木尉元：関東および中部地方の最近の造構運動と発電機構との関係について

K. SHIBATA, K. KONISHI & T. NOZAWA : K-Ar Age of Muscovite from the Crystalline Schist of the Northern Ishigaki-shima, Ryukyu Islands

資料  
黒海の底質における硫黄化合物の賦存形態の分布について（矢部訳）

・地質調査所月報 第19巻 第9号  
報 文

大山桂・石山尚珍：堆積環境の推定に関する諸問題点  
——千葉県上泉を例として——

佐藤壯郎：秋田県小坂鉱山内ノ岱西鉱体産の級化層理を示す鉱石

瀬谷 清：松代地震時における重力変動について  
本島公司：低分子炭化水素の地球化学  
藤貫 正：石灰岩の地球化学的研究（I）  
赤坂石灰岩鉱床における微量元素について

概 報  
熊本県下益城郡豊野村付近の肥後片麻岩類の地質構造（清原）  
資料  
アゾフ海における堆積環境について（矢部訳）

・地質調査所月報 第19巻 第10号  
報 文

M. KAWANO & T. NOZAWA : Petrochemistry of Granitic Rocks in Hayatsukigawa area, Hida Mountains.

高橋綱・永井茂：高知平野の地下水  
比留川貴：島根県下のヘリウム資源について  
塚脇祐次・柴野照博：高知県香美A地区石灰石鉱床調査報告  
塚脇祐次：高知県香美B地区石灰石鉱床調査報告

概 報  
松井寛・佐藤良昭：奈良県都祁・室生・曾爾村および三重県青山町における放射能強度調査  
資料  
地球の堆積層中の炭化水素類（米谷・本島訳）

・地質調査所月報 第19巻 第11号  
報 文

宮下美智夫・米谷宏：群馬県磯部町付近の He 資源について  
馬場健三：松川第4号井の坑井内温度及び圧力の測定結果について

成田英吉・番場猛夫・五十嵐昭明：北海道洞爺湖東方の粘土鉱床  
塚脇祐次：徳島県長柱地区珪石鉱床調査報告

概 報  
北九州市門司・恒見・井ノ浦付近に分布する石灰岩体周辺の地質（清原）

資料  
科学としての古地理学（その2）（須貝・鈴木訳）

・地質調査所月報 第19巻 第12号  
報 文

安藤直行・大塚寅雄・永田松三：富山県立山地獄谷噴気孔ガス

の化学的性質—火山ガス中のヘリウム資源—  
概 報

松井寛・山屋政美：北海道中川炭田恩根内炭鉱概報  
馬場健三・田中信一：熊本県岳湯地域電気探査概報  
清原清人：福岡県京都郡田町付近の石灰岩層周辺の地質

資料  
黒海と地中海の堆積物におけるウランと有機物（矢部訳）

・地質調査所月報 第20巻 第1号  
報 文

神戸信和・片田正人・大森貞子：南部北上帯の二層系登米粘板岩の化学組成および堆積環境

衣笠善博・垣見俊弘・平山次郎：房総半島東海岸の小断層  
猪木幸男・阿部喜久男：Ultrabasic Rocks in the Eastern Part of the Chugoku Zone, Japan

服部仁・柴田賢：螢光X線分析法による岩石中の Pb および Sr の定量

概 報  
猪木幸男：“上郡帯”より石炭紀さんご化石の発見  
片田正人・小野千恵子：北上山地の古生層泥質岩の化学成分（続報）

・地質調査所月報 第20巻 第2号  
報 文

湯原浩三ほか2名：箱根大涌谷・早雲山地熱地域からの放熱量  
福田理ほか12名：第4次沖繩天然ガス資源調査研究概報

嶋悦三・大田裕・柴藤喜平：SH 波発生装置により発生した波群の研究

資料  
徳永重元・春城清之助：世界石炭資源地質資料（1）  
総論（I）・各論（ノルウェー）  
黒海と地中海の底質柱状におけるウランと希金属（矢部訳）

・地質調査所月報 第20巻 第3号  
報 文

石原舜三・関根節郎・原田種成・肥田昇：ベリリウム探査器による Be 鉱物の探査と野外 Be 分析方法の検討

石原舜三・小村幸二郎・村上正：広島県三次北方の中新世ウラン鉱床の基盤岩類と庄原市明賀のウラン異常の原因  
小尾中丸・氏家明：阿武隈北部地域における自動車放射能探査  
小尾中丸・氏家明・宮村学：熊野地域における自動車放射能探査

概 報  
小尾五明・小関幸治：福島・宮城県境霊山北部地域の放射能強度概査

資料  
須貝貫二・鈴木尉元・平山次郎：最も一般的な古地理学的要因としての構造地質学的条件（露文翻訳）

地質ニュース	第175号	3月号
	定価	¥220
	発行	昭和44年3月25日
編集	工業技術院	地質調査所
発行人	林久雄	
発行所	株式会社	実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (261) 7 1 7 3・9 3 8 7	
	振替口座	東京 3 2 4 6 6
総発売元	政府刊行物販売所	
	東京都千代田区大手町1の8	
	Tel. (211) 5 5 7 0	
印刷所	共同印刷株式会社	

# In the Unesco Scientific Maps series

## 500万分の1 アフリカ 大陸地質構造図 刊行される

# International Tectonic Map of Africa

1 : 5 000 000

This map contains several innovations:

It is the first tectonic map of Africa ever to have been published on this scale.

For the first time in the history of geological cartography, the legend of the Pre-Cambrian is entirely based on geochronology, i.e., on the 'absolute ages' determined radiometrically by the various isotopic methods now in use. This legend applies to the Pre-Cambrian shield of Africa which crops out over wide areas. Nine basic colours are used, each corresponding to an orogeny, and the ancient tectonic structures are represented in overprint by appropriate conventional signs.

Another innovation is to be found in the tabular covers of the platforms. The thickness of such covers, or the depth of the shield, is generally represented by isobathic curves. To indicate the depth of the basins and the thickness of the platform covers, use was made of progressively shaded colours which are dark at the edge of the basin and become lighter towards the centre, creating thereby a striking impression of depth. The cartographic artists of the Institut Géographique National (France) have been most successful in applying this system of multiple shading.

The map also provides a considerable amount of data not given by ordinary geological maps as it is very detailed despite its small scale.

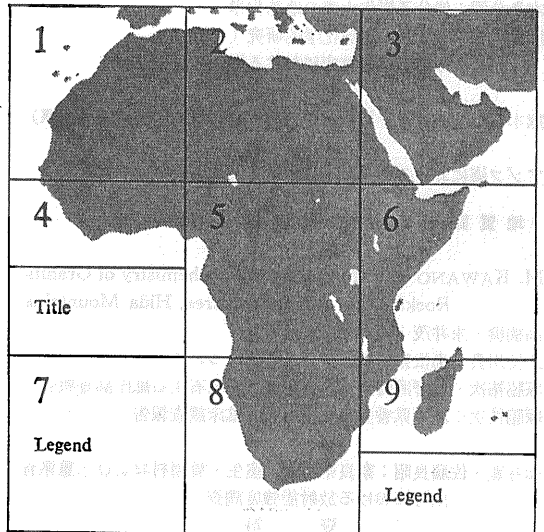
Published by Unesco and the Association of African Geological Surveys (ASGA), Paris.

Compiled under the aegis of the International Geological Congress and the Commission for the World Geological Map (Sub-commission for the World Tectonic Map).

Consists of nine sheets, 93 × 68 cm. (36 1/2 × 26 3/4 in.). Legends in English and French.

An explanatory brochure of 15 to 20 pages is in preparation and can be supplied free of charge as soon as it is available to all purchasers of the complete set.

Series of nine maps: \$50; £15; 180 F.  
Each map sold separately: \$8.50; £2 11s. (£2.55); 30 F.



### 500万分の1 アフリカ大陸地質構造図

アフリカ大陸についてこのような縮尺による、多くの新しい資料を盛り込んだ多色刷の地質構造図が、今回はじめてユネスコから出版されました。今後もこのような地図集がユネスコから出版される予定です。

今回出版された地図は、万国地質学会議および世界地質図委員会の協賛のもとに編集され、ユネスコとバリのアフリカ地質調査協会により、ユネスコの地図集の1つとして出版されました。地図の凡例は英語と仏語で書かれ、目下作成中の15~20頁の説明書はセットで購入した場合無料配布されます。販売価格は9枚1組で50ドル、各1枚は8ドル50セントです。

希望の方は下記に連絡されるとよいと思います。

Bureau of Documents and Publications, UNESCO,  
place de Fontenay, Paris 7e